

受付は終了しました。

分析研究課題の募集：JGSS-2010/EASS 2010

受付期間：2012年8月6日～2012年10月まで、毎月25日締切

1. 募集の目的

JGSS 研究センターでは、社会科学諸分野の研究者が温めている研究課題を募集し、それぞれの研究課題を集約した全国調査および国際比較調査を実施しています。今回募集するのは、2010年2～4月に実施したJGSS-2010/EASS 2010の分析に関する研究課題です。

本研究センターでは分析を公募することにより、調査データの活用を促進し、実証的な社会研究の発展を目指しています。優れた分析案をご提案いただければ、信頼性の高い調査データを一般公開以前に利用していただけるほか、研究に対する支援も行います。ふるってご応募ください。

2. 調査の概要

- 調査名：JGSS-2010/EASS 2010
- 実施時期：2010年2～4月
- 調査方法：面接法と留置法の併用（1人の調査対象者に面接調査と留置調査の両方に回答してもらう形式）
- 調査対象：日本全国に在住の20歳～89歳の男女から9,000人を層化二段抽出（ただし、留置票は2種類あるので、サンプルは2つに分割）。
- 有効回答数（回収率）：留置A票 2,507（62.2%）、留置B票 2,496（62.1%）

3. 募集内容

ホームページで公開されている調査票等の資料をもとに、JGSS-2010/EASS 2010の具体的な分析研究計画をご提案ください。採択された場合には、一般公開前のデータで分析を始めていただけます。

JGSS-2010およびEASS 2010に関してすでに以下の研究課題が採択されています。これらと重複の大きい課題は採択できませんので、ご注意ください。また、過去のJGSSデータと統合して経年変化を分析する課題は募集しておりませんので、予めご了承ください。

すでに採択されている研究課題：2012年7月24日更新

課題名	主に分析する設問
観光行動に関する社会心理学的研究	[留置B票]Q6～8
医療アクセスに関する研究	[留置B票]Q56-1～56-2
英語の必要性の認知に関する研究	[留置A票]Q19～20
社会風土の変化と幸福感に関する研究	[留置B票]Q33, 66
中高年の地域活動・ボランティア活動の研究	[留置A票]Q72
生きがいと健康との関連に関する研究	[留置B票]Q41
皮膚のそう痒感の環境要因に関する研究	[留置B票]Q44
耽溺行動に関する研究	[留置A票]Q15/[留置B票]Q49

すでにJGSS研究論文集で発表された研究成果

論文タイトル	論文集のNo.
近隣の身体活動環境と運動習慣の関連—JGSS-2010による分析—	第12号
2009-10年のインフルエンザA(H1N1) 2009pdm 流行時のインフルエンザ感染・不安・予防接種の経験と社会経済的地位—JGSS-2010による分析—	第12号
労働者の職場の連帯感、ゆとり感が孤独感及び職務満足感に及ぼす影響—JGSS-2010を用いた分析—	第12号
Hopelessnessと健康関連QOLの関連—JGSS-2010に基づく分析—	第11号
そう痒と主観的な環境要因との関連—JGSS-2010データを用いて—	第11号
日本人の耽溺行動—JGSS-2010による「ギャンブル」「ゲーム（TV/ネット/携帯）」項目の基礎的分析—	第11号
JGSS-2010による早期英語教育に関する意識調査	第11号
Japanese People's Valuation of English Skills: Sociometric Analysis of JGSS-2010	第11号
観光行動の促進要因と阻害要因—JGSS-2010のデータを用いて—	第11号

受付は終了しました。

4. 応募資格

大学その他の研究機関の研究者、または大学院生（分野は問いません）

5. 応募方法

応募用紙に、氏名等、研究課題、想定する分析のモデル、研究に関連する参考文献、JGSS データの利用経験、これまでの社会調査の経験を明記して、下記の JGSS 研究センターまで、メールに添付して提出してください。説明のために別紙を追加していただいてもかまいません。

6. 受付期限及び提出先

- 受付期間：2012 年 8 月～2012 年 10 月まで、毎月 25 日締切で審査
（第 1 回締切 2012 年 8 月 25 日、第 2 回締切 2012 年 9 月 25 日、……）
- 提出先：〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10 大阪商業大学 JGSS 研究センター
E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

7. 選考方法と発表

JGSS 研究センターの運営委員会において審査を行います。審査結果は、各締切日の翌月 15 日までに応募者全員にお知らせします。

8. 採択者の義務および JGSS 研究センターからのサポート

- JGSS 研究センターの共同研究者として、嘱託研究員（無給）になっていただく必要があります（大学院生の場合は、JGSS 調査研究奨励プログラムの参加者となります）。
- センターで開催する研究会に参加いただき、分析の経過をご報告ください（旅費支給）。
- 電子メールおよび研究会での情報共有や議論を通して、分析を進めるためのサポートを受けられます。
- センターの施設・設備が利用できます。
- 最初の成果は、『JGSS 研究論文集』（毎年 3 月に刊行、12 月に原稿締切）にご執筆ください。
論文集刊行までの間は、研究成果の発表は学会大会等での口頭報告に限り、他の雑誌等に当該研究課題の成果論文を掲載することはできません。

お問い合わせ：JGSS 研究センター（できるだけ電子メールにてお問い合わせください）

Tel: 06-6785-6013 / Fax: 06-6785-6011

<http://jgss.daishodai.ac.jp> E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

受付は終了しました。

分析研究課題の募集：JGSS-2010/EASS 2010 応募用紙

A4判で以下の各項目が網羅されていれば、枠にはこだわらなくても構いません。また、必要に応じ、枚数が増えても結構です。応募用紙は、メール添付にて送付ください。(宛て先 jgss@daishodai.ac.jp)

氏名：	所属・職/学年：
連絡先住所：	
電話：	E-mail：
所属学会：	
研究課題（タイトル）	
想定する分析モデル（分析に必要な変数を明記）	
参考文献	
JGSS データの利用経験（EASS データを含む）	
これまでの社会調査の経験	